

令和4年9月5日（月）

令和4年度第2回「横浜市地域公共交通会議」

次 第

議題

- ・都筑区都田・池辺地区における小型車両による運行の実証実験について
- ・青葉区新石川地区における地域交通の実証実験について
- ・乗用タクシーを活用した実証実験の取組（相乗り）について
- ・金沢区富岡地区における地域交通の取組について

◆ 配布資料

- ・ 委員名簿
- ・ 座席表
- ・ 議題資料

令和4年度 第2回「横浜市地域公共交通会議」委員名簿

令和4年9月 現在

職 名	氏 名
横浜市町内会連合会委員（青葉区連合自治会長会 会長）	関根 宏一
公募市民	倉重 郁雄
公募市民	佐藤 守
学識経験者 東京大学大学院 特任教授	中村 文彦
一般乗合旅客自動車運送事業者 （一般社団法人神奈川県バス協会 乗合部会長）	齋藤 謙司
一般乗用旅客自動車運送事業者 （一般社団法人神奈川県タクシー協会横浜支部 常任理事）	藤井 嘉一郎
一般社団法人神奈川県バス協会 理事長	八郷 大文
一般社団法人神奈川県タクシー協会横浜支部 事務局長	稲葉 弘行
神奈川県交通運輸産業労働組合協議会 議長	宍戸 秀樹
神奈川県交通運輸産業労働組合協議会 事務局長	小笠原 征夫
国土交通省関東運輸局自動車交通部 旅客第一課長	神宮 秀樹
国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官	三橋 裕
神奈川県警察本部交通部 交通規制課長	松本 淳平
神奈川県県土整備局都市部 交通企画課長	近藤 修宏
横浜市都市整備局 都市交通部長	松井 恵太
（座長）横浜市道路局 計画調整部長	長谷川 秀

令和４年度第２回「横浜市地域公共交通会議」	
日 時	令和４年９月５日（月）１０時から１２時まで
場 所	横浜州市庁舎 １８階みなと１、２、３会議室
開 催 形 態	公開（傍聴：３名）
議 題	・都筑区都田・池辺地区における小型車両による運行の実証実験について ・青葉区新石川地区における地域交通の実証実験について ・乗用タクシーを活用した実証実験の取組（相乗り）について ・金沢区富岡地区における地域交通の取組について
議 事	（※本議事録内では敬称略） （１）都筑区都田・池辺地区における小型車両による運行の実証実験について ■（一社）神奈川県バス協会乗合部会長 委員代理 ご意見 ①：３１８系統と３００系統は横浜市の路線維持の制度を活用した路線だが、今回の実証実験に、横浜市からの補助金が出るのか。又は、現在の路線維持の括りの中で実施するのか。 →◆事務局 回答 ①：今回の実証実験は、（道路局から）交通局へ運行を委託する形で行う。 ■（一社）神奈川県タクシー協会 横浜支部 常任理事 ご意見 ②：新路線のバスは非常に小回りの利く車両で、仲町台駅のタクシーの需要にどの程度の影響を及ぼすのか、実証実験の中で十分に調査をしてほしい。 →◆事務局 回答 ②：タクシーに及ぼす影響についても、実証実験の中で調査をしていきたいと思う。 ■（一社）神奈川県バス協会 理事長 ご意見 ③：新系統の支払い方法にキャッシュレスと敬老パスがあるが、敬老パスは一般貸切事業者による運行の場合も対象となるのか。 →◆事務局 回答 ③：後ほど確認し回答する。 （確認後の回答：本事業は一般貸切旅客自動車運送事業者による乗合運送だが、横浜市乗合自動車（横浜市交通局）の普通系統であるため、「横浜市敬老特別乗車証条例施行規則」の第２条に該当し、敬老パスの対象となる。） ■公募市民 ご意見 ④：計画ダイヤでは、新開橋辺りの企業までの通勤には使いにくいのではないかと。通勤者の意見をどこまで吸い上げているのか。 →◆事務局 回答 ④：今回の実証実験の中で意見を拾っていききたい。

■学識経験者 東京大学大学院 特任教授 ご意見

- ⑤：路線再編と路線新設で地域の人たちの行動がどのように変わったのかデータを取り、分かったらその先どうするのかまで検証すると良い。
- ⑥：便数は全体で 2/3 減便だが、収支改善は運行量が減った影響が大きいのか。コスト減に伴い利用者減となり収支改善できることが横浜市として本当に望む姿なのか、実証実験期間中に検討してほしい。

→◆事務局 回答

- ⑤：効果検証内容を検討する中で参考にさせていただきます。
- ⑥：減便で収支改善するが、新システム導入により新たな経費も追加となり、全体で収支が落ちる想定である。経費を削り事業縮小していくということではなく、効率の良いサービスで外出機会は減らさないような再編となっているかを検証していきたいと考えている。

(2) 青葉区新石川地区における地域交通の実証実験について

■(一社)神奈川県バス協会乗合部会長 委員代理 ご意見

- ①：路線バスがある中でのデマンド交通により、路線バスの利用者数への影響など総合的な検証をお願いしたい。
- ②：検討中の IC カード、キャッシュレス決済とは何を指すのか。バス IC 協会 (PASMO の絡み) もあるので、そこも含めて検討した方が良いのではないかな。

→◆提案者 回答

- ①：ご意見として参考にさせていただきます。
- ②：地域からは交通系 IC カードでの支払い要望もあり、イベント時で使用するような簡易なポータブル決済システムを調整している。約 1 か月半の実験の中で何ができるのか、PASMO も含めて確認する。

■公募市民 ご意見

- ③：利用対象者の主なターゲットに子育て世帯があるが、ワゴン型の車両にベビーカーが複数台乗り合わせた時の扱いについて聞かせてほしい。
- ④：昨今の社会状況から、家で過ごす時間が非常に増えている。若い世代が多く住むこの地域において、家の中で充実した生活を送る地域住民に対し、いかに地域交通の価値を訴えるのか。。

→◆提案者 回答

- ③：ベビーカーを折り畳み後部の荷物スペースに積載することを考えている。
- ④：家に居ることを否定するのではなく、多様なライフスタイルに応えられるまちを目指している。健康志向や地域コミュニティなどの視点からは外出をした方が良いので、生活サービスとの連携をトリガーに企画した。効果検証の中では、インドア派の外出のきっかけは何かという部分もしっかりとキャッチしていきたい。

■学識経験者 東京大学大学院 特任教授 ご意見

- ⑤：移動と生活サービスのパッケージ化の案が出たことは嬉しい。交通サービスだけでなく、移動の利便性向上や地域課題解決に繋げてほしい。利用者を連れてくる費用負担を、運行だけでなく病院や商業施設からの負担金等獲得まで超えることが重要。
- ⑥：住民から見た時に、例えば「この車両ではこの予約方法や支払い方法が使えるが、別の車両では使えない」というように、乗車方法が車両によって異なることがないよう、本格運行までに乗車方法の統一化まで検討してほしい。
- ⑦：例えば、ベビーカーもそのまま乗車できるなど、ワゴン型車両も現在、運行している車両形態がベストとすることなく、ニーズを踏まえ、実証実験中も車両の理想形も探してほしい。本格運行時に「流石、横浜だね」と言われるようにしてほしい。
- ⑧：デマンド運行は「リクエスト時間になかなか乗れない」ということが発生する。交通行動の変化に加えて「このようにリクエストしたが上手くいかなかった」という記録も残しながら、オンデマンドの方法もどのやり方がマッチするのか、実証実験の中でしっかりと検証をしてほしい。

→◆提案者 回答

- ⑤～⑧：重要な視点をいただきました。参考にさせていただきます。
- その他：店舗等との調整で「1台運行で足りるのか」との声をよく頂戴し、嬉しい悲鳴である一方、他都市事例などでは1台運行に満たない需要が多い。最初から2台運行は難しいが、反響が大きく、需要が1台で賄えない場合には、関係者と調整の上、予備車を使うことも想定している。

■神奈川県警察本部交通部 交通規制課長 ご意見

- ⑨：所轄警察署と協議を実施しているのか。仮想の乗降スポットには張り紙か看板等を設置するのか。

→◆提案者 回答

- ⑨：青葉警察署と協議し理解いただいている。乗降スポット位置は、基本的に地図への記載のみとなり、工作物の設置はしないが、現地で迷わないようにフェンスに張り紙を設置するなど可能な範囲での対応を考えている。

(3) 乗用タクシーを活用した実証実験の取組（相乗り）について

■学識経験者 東京大学大学院 特任教授 ご意見

- ①：既存の交通手段に「タクシー相乗り」が加わると、地域の方の移動がどのように変わったのか、人の移動が増えるのか、何か問題が起きるのか。バスとタクシーの需要の奪い合いに焦点を絞ることなく、全体の移動需要の中でどこを狙うの

か、需要側の説明があればより良い。どのニーズを狙うことが横浜市として大事なのかを検証することを強くお勧めする。

→◆事務局 回答

- ①：インタビュー等を通して、そのニーズも拾っていききたい。外出機会がどのように変化したか、効果を検証し、タクシー相乗りのサービス内容を検討していきたい。

■（一社）神奈川県タクシー協会 横浜支部常任理事 ご意見

- ②：超短距離輸送は、予約の問題、複数乗車の乗降がスムーズに行えないと採算に乗らず、持続可能なものにならない。高齢者の外出をどのようにしたら促進できるのか、タクシーをどのように活用してもらえるのか、新たな需要の創出につながることを協会としても期待している。

■公募市民 ご意見

- ③：若い女性が単独で利用するときなど、利用者に不安を与えないようにすることも配慮してほしい。
- ④：実証実験の候補地の選定では、例えば、隣近所の顔がわかるような町内会活動が活発に行われている戸建住宅地等から検討してはどうか。

→◆事務局 回答

- ③：相乗りのマッチングは課題として捉えている。地域によって取り組み方が異なるのかもしれないが、短い乗車時間の中で、相乗りにどれだけの抵抗感があるのかを実証実験を通して確認していきたい。
- ④：住宅地としても古く、コミュニティがしっかりとあるところをまずは選定してモデルを構築することを考えている。

（４）金沢区富岡地区における地域交通の取組について

■公募市民 ご意見

- ①：運賃外収入は京急グループのスケールメリットを活かして、車体広告、車内広告等広く獲得できると思うので知恵を絞ってほしい。
- ②：支払い方法の定額払いは定期券なのか。
- ③：アンケート結果に「使い方がわからない」とあるが、乗車方法は紙配布のみか。例えば、グループのキャラクターを使った動画配信をしてはどうか。

→◆事務局 回答

- ②：本運行の定額払いは、定期券というよりはサブスクに近く、いつ購入しても月額料金の料金で月末まで有効となる。
- ③：リーフレットに乗り方を掲示している。昨年度も駅前の薬局に間借りして、サイネージで運行情報と広告を流した。今年度も同様の取組をする。YouTubeも含めて動画広報も検討していく。

■学識経験者 東京大学大学院 特任教授 ご意見

- ④：運行日が月,火,水,金曜日なのは、昨年度の実績で木,土曜日の利用が平均よりも少ないことが根拠か。木,土曜日の利用が極端に少ないようには見えないが、コスト事情があっても、利用者からすれば「木,土,日,祝日は移動を諦めてほしい、自力で頑張ってもらいたい」というメッセージにも受け取れるので、どのように対応するのかは、じっくりと考えてほしい。

→◆事務局 回答

- ④：実験期間は長いので、その整理はじっくりと検討する。

(5) その他について

■横浜市町内会連合会委員 ご意見

- ⑤：全体として、少子高齢化社会の課題を睨んでの対策に偏り過ぎではないか。横浜市全体の発展を考えると若い世代の活動が大前提にある。地域内で完結する目的と地域外へのアクセス目的を分けて検討すべき。
- ⑥：県境や地区境は、タクシー需要があるにも関わらず地区規制で乗車を断られるケースもある。事業者間の地区規制を撤廃することも行政は考えてほしい。
- ⑦：タクシーの相乗りで個人情報保護の安全性も事前に十分に考慮し、良い実証実験を行政が横展開してほしい。

→◆事務局 回答

- ⑤：市の中期計画素案の中の大きなテーマ「生産年齢人口の流入による経済活性化」も掲げ、「住居や仕事等、選ばれる街に」が大きなテーマである。現在、素案のパブリックコメント中である。ご覧いただいてご意見を頂戴できればと思う。